

16:25 わたしはこれらのことを、あなたがたにたとえて話しました。もはやたとえて話すのではなく、はっきりと父について伝える時が来ます。

16:26 その日には、あなたがたはわたしの名によって求めます。あなたがたに代わってわたしが父に願う、と言うものではありません。

16:27 父ご自身があなたがたを愛しておられるのです。あなたがたがわたしを愛し、わたしが神のもとから出て来たことを信じたからです。

16:28 わたしは父のもとから出て、世に来ましたが、再び世を去って、父のもとに行きます。」

16:29 弟子たちは言った。「本当に、今あなたははっきりとお話くださり、何もたとえでは語られません。

16:30 あなたがすべてをご存じであり、だれかがあなたにお尋ねする必要もないことが、今、分かりました。ですから私たちは、あなたが神から来られたことを信じます。」

16:31 イエスは彼らに答えられた。「あなたがたは今、信じているのですか。

16:32 見なさい。その時が来ます。いや、すでに来ています。あなたがたはそれぞれ散らされて自分のところに帰り、わたしを一人残します。しかし、父がわたしとともにおられるので、わたしは一人ではありません。

16:33 これらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがわたしにあって平安を得るためです。世にあっては苦難があります。しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝ちました。」

イエス様が「神から出て来た者」すなわち救い主と信じる者を、御父は愛してくださいます。しかしイエス様はご自身が「ひとり残」されることを知っていました。この後、十字架を前にして弟子たちは逃げてしまったのです。

それでも弟子たちが「平安を持つために」イエス様は、あらかじめそのことを教えてくださったのです。ご自分が裏切られることを知っていながら、それでもなお弟子たちのことを思いやってくださる愛です。

私たちにも「世にあっては苦難があり」ますが、思いやってくださるイエス様を信頼しましょう。しかもイエス様は「世に勝ちました」という全能の神なのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

